2014年06月版

Kabuto

RT33

RT-33系 取扱説明書

保存用

ご使用になる前に

この取扱説明書は必ずヘルメットご使用前にお読みください。またお読みの後は、保管してくださいますようお願いいたします。

メットインスペースへの収納について

当製品は、車種により「メットインスペース」への収納ができない場合があります。
あしからずご了承ください。

RT-33 取扱説明書・インデックス

RT-33 取扱説明書・インデックス……P-1
おもな部位の名称……P-2

安全・快適にご使用いただくために

ご使用になる前に……P-3
PSC・SGマークについて……P-4

あごひもについて

1 あごひもカバーの脱着方法……P-5
2 あごひもの取扱方法……P-6

ベンチレーションの空調機能

3 チンベンチレーションの開閉……P-6
4 「ベンチレーションシステム」と「ウェイクスタビライザーPAT.」……P-7
5 ヘッドベンチレーション、リアベンチレーションの開閉……P-8

シールドについて

6 「シングルアクションシールドシステムPAT.」の使用方法……P-9
7 シールドラチェットの脱着方法……P-11
8 シールドポストNo.3について……P-13
9 Pinlock®Original Insert Lensの使用方法……P-14
（ピンロック® オリジナル・インサート・レンズ）
10 シールドポストNo.3の使用方法……P-17
重要 シールドポストNo.3を回すとピンロックピンも同時に回ってしまう場合……P-18

内装（インナーパッド・チークパッド）について

11 チークパッド（ほほ）の脱着方法……P-19
12 インナーパッドの脱着方法……P-20
参考 **インナーパッド、チークパッド、あごひもカバーの互換性について**……P-21
重要 内装パッドの洗濯についてのご注意……P-21

ウィンドシャッター / ブレスガードについて

13 ウィンドシャッターNo.2の脱着方法……P-22
14 ブレスガードNo.5の脱着方法……P-23

お問い合わせ / パーツリスト

商品に関するお問い合わせ……P-24
● **RT-33シリーズ パーツリスト**……P-25

RT33 おもな部位の名称

ご使用になる前に

このたび、当製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。
この取扱説明書はお買い上げいただいたヘルメットの正しい取扱い方法や各機能、脱着などについて説明しております。ご使用になる前に必ず最後までお読みください。
またお読みの後は、大切に保管してくださいますようお願いいたします。
ヘルメットは、いかなる事故にも、絶対という訳ではなく、万一の際に危険の度合いを減らす装備の一つで、安全の一要素にすぎないということをよくご理解のうえご使用ください。
安全快適なモーターサイクルライフを楽しむためにも、本書に記載の注意事項をよくご理解いただきますようお願いいたします。

⚠ 頭に合ったサイズのヘルメットを、お選びください。

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは、頭を締めつけ痛くなる可能性もあるので、頭によく合ったヘルメットをお選びください。

⚠ あごひもは必ずしっかり締めてください。

あごひもを締めなかったり、締め方がゆるいと、万一転倒した時などに脱げてしまい、
頭を守る事ができず非常に危険です。

⚠ 大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上に損傷がなくても、ご使用にならないでください。

ヘルメットはシェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで、衝撃エネルギーを吸収します。
大きな衝撃を受けたヘルメットは、既にライナーが潰れている場合が多く、そのまま使用すると、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。外観にキズ等がなくても、使用しないでください。

⚠ ヘルメットの改造は絶対にしないでください。

ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、あごひもなどは絶対に改造したりしないでください。
ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。また部品を取り外したまま使用しないでください。

⚠ ヘルメットのお手入れは薄めた中性洗剤でふき取るようにしてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、熱湯（50℃以上）や、塩水等は絶対に使用しないでください。
ヘルメットの材質が侵され、ヘルメットの性能が低下するおそれがあります。

⚠ ヘルメットを塗りかえる時のご注意

シェル及び衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により材質が侵され、衝撃吸収力が低下する場合があります。また、乾燥に50℃以上の熱を必要とする塗料は使用できません。
ヘルメットを塗りかえる必要のある場合は専門の業者にご依頼ください。

⚠ ヘルメットは大切に取扱ってください。

ヘルメットは丈夫だからといって、床等に放り投げたり、上に座ったりしないでください。
その度に衝撃を吸収するため、衝撃吸収力が低下します。万が一の為に大切に取扱ってください。
また、乗車時での頭を保護する以外の目的には使用しないでください。

⚠ ヘルメットの保管について

ヘルメットは直射日光の当たる車の中や、暖房機のそばなど、高温（50℃以上）の場所に
長時間放置しないでください。（ヘルメットに使われている材質が侵され、性能が低下します。）
また、落下しやすい、オートバイの上や高所などでの保管はしないでください。

⚠ シールドのお手入れについて

シールドの汚れを取るときには、柔らかい布を使い、薄めた中性洗剤で汚れをふき取り、
最後に清水ですすいだ布で拭きあげてください。
ガソリン、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

⚠ フルフェイスヘルメット使用上のご注意

フルフェイスをご使用の場合、走行中のヘルメット内はほぼ一定の温度ですが、高速度で移動しているため周辺の環境は常に変化しています。そのため、突然の雨やトンネルに入った直後、峠道など高低差がある場合は、ヘルメット内の温度と周辺との気温差が生じるため、シールドが急激に曇ってしまう場合があります。この様な状況が予想される時は、あらかじめシールド開度の調整や適切なスピードにするなど注意をするようお願いします。
なお、シールドの開閉操作及びベンチレーションシャッター操作は、必ず停止した状態で行ってください。走行中の操作は危険です。

⚠ 乗車用ヘルメットの有効期間は、「購入後3年間」です。

ヘルメットは様々な状況下において使用されるために、見た目以上に劣化が進んでいることがあります。このため、SGマークにはヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後３年間」と有効期限を定めて、ヘルメットに表示しております。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮できない場合が多く、正常に使って異常が認められなくても、ご購入後３年以内に交換してください。

PSC・SGマークについて

「PSCマーク」

「P:Product（製品）」、「S:Safety（安全）」、「C:Consumer」の頭文字を略号としてマークで表しています。これは消費生活用製品安全法に基づき製造された製品に表示されるマークで、消費者に対して生命の危険や身体に特に危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品を国が「特定製品」として指定していることを意味します。日本国内で販売されるヘルメットは、このマークが表示されていなければ、販売することはできません。

「SGマーク」

SGマークは、製品安全協会が定めたSG基準に適合している製品に表示されるマークです。
またSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり、製品安全協会の定めるSG基準に適合していないために着用者が損害を被った場合に、その損害を賠償するものです。なおこの制度はプロオートバイレースやサーカスなどの特殊な用途に用いている際の負傷や、SG基準が定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷などは賠償の対象になりません。

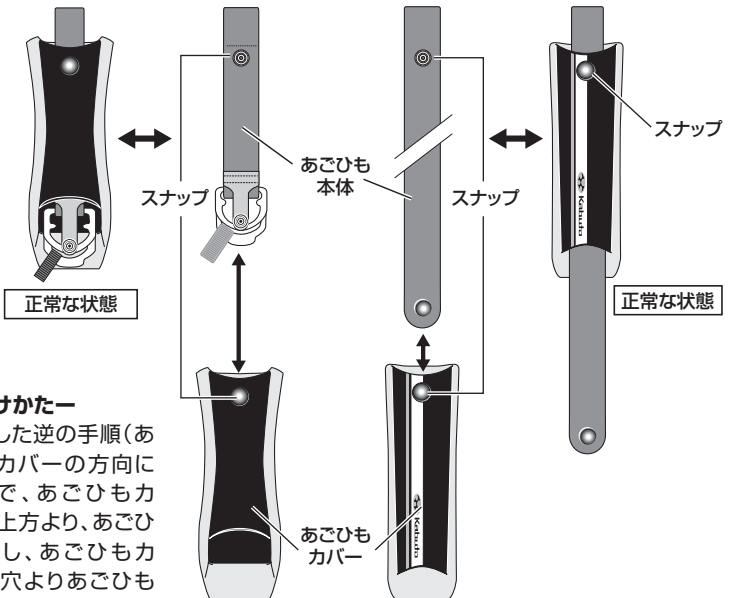
（SGマークに関するお問い合わせ先）
〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ 三ノ輪 2F
製品安全協会 ☎（03）5808-3300（代）

1 あごひもカバーの脱着方法

このヘルメットは、汚れた時などにあごひもカバーを取り外して洗うことができます。

ー取り外しかたー

①あごひもの根元にあるスナップを外します。
②あごひも本体よりあごひもカバーを引き抜くと、取り外せます。



ー取り付けかたー

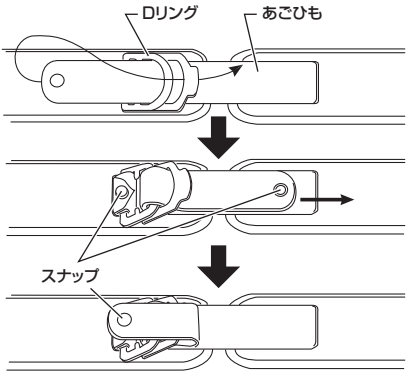
①取り外した逆の手順（あごひもカバーの方向に注意）で、あごひもカバーの上方より、あごひもを通し、あごひもカバーの穴よりあごひもの先端を出します。
②最後にスナップを止めれば完了です。

ご注意

- あごひもカバーを洗濯する際は、洗たく機による繊維の痛みを防止するため、「洗濯用ネット」などに入れて、洗濯を行ってください。
- あごひもカバーの方向を逆に取り付けると、Dリングが隠れてしまいますので、取付時には方向にご注意ください。

2 あごひもの取扱方法

①あごひもをDリングに通し、矢印の方向に引いて、締めてください。
②最後にあごひものバタ付きを防止するためのスナップを止めます。



⚠警 告

ヘルメットをご使用の際、あごひもは必ずしっかりと締めてください。締めないまま走行すると、万一の転倒や事故の際に、ヘルメットが脱落する可能性があり、大変危険です。

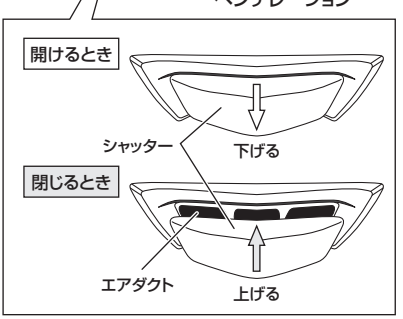
3 チンベンチレーションの開閉

開けるとき

チンベンチレーションのシャッターを下にスライドさせると、シャッターが開いて外気が導入されます。

閉じるとき

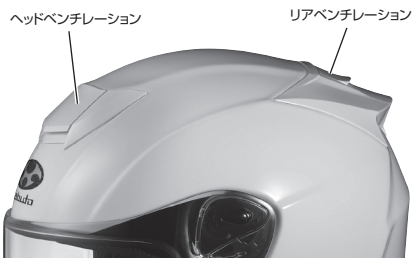
チンベンチレーションのシャッターを上にスライドさせると、シャッターが閉まり、外気導入が遮断されます。



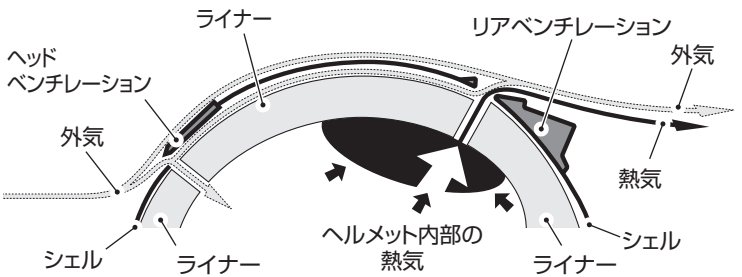
⚠警 告

走行中のシャッター操作は危険ですのでおやめください。
シャッターを操作するときは必ず、走行前あるいはオートバイを安全な場所に停車させてから操作してください。

4「ベンチレーションシステム」と「ウェイクスタビライザーPAT.」



[ベンチレーションシステム]
オートバイ走行時における前方からの風圧を利用して効率よく外気を導入し、ヘルメット内部の熱気を排出させるシステム。またこのベンチレーションには、風の導入を任意で操作する「シャッター機能」が装備されており、寒い冬や雨天時などの冷気や水滴の侵入をシャットアウトします。



<RT-33 ベンチレーションの構造>

[シェル一体型・ウェイクスタビライザーPAT.]
ウェイクスタビライザーPAT.は、様々な角度から行われた風洞実験の分析結果から生み出された、Kabutoの新システム。
走行中に発生する帽体付近の空気の流れをコントロールし、負荷を軽減します。

5 ヘッドベンチレーション、リアベンチレーションの開閉

[ヘッドベンチレーションの開閉操作]

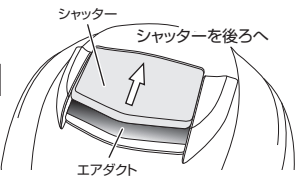
開けるとき

シャッターを後ろにスライドさせると、
エアダクトが開き、外気が導入されます。

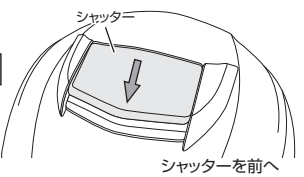
閉じるとき

シャッターを前にスライドさせると、
エアダクトが閉まり、外気導入が遮断されます。

開けるとき



閉じるとき



[リアベンチレーションの開閉操作]

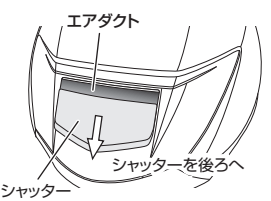
開けるとき

リアベンチレーションのシャッターを後ろへ
スライドさせると、エアダクトが開き、
ヘルメット内部の熱気を強制排出します。

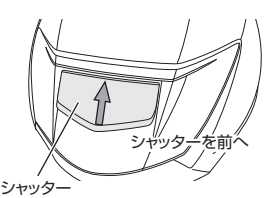
閉じるとき

リアベンチレーションのシャッターを前へ
スライドさせると、エアダクトが閉じて、
熱気の強制排出を停止します。

開けるとき



閉じるとき



ご注意

各ベンチレーションは、強い力を与えると部品が破損する場合がありますので、
取扱いにはご注意ください。

※「5 ヘッドベンチレーション、リアベンチレーションの開閉」に関する次ページの、**「警告」**についても必ずよくお読みください。

⚠警 告

●走行中のシャッター操作は危険ですので絶対におやめください。
シャッターを操作するときは、走行前あるいはオートバイを安全な場所に必ず停車させてから操作してください。

●各ベンチレーションのエアダクト（エア吸排出穴）は、転倒や事故の際の大きな衝撃を考慮し、最良の大きさ・数で設計しております。むやみに穴を広げたり穴の数を増やしたりすると、ヘルメットの性能を低下させる原因となり、大変危険ですので絶対におやめください。

6 「シングルアクションシールドシステムPAT.」の使用方法

「シングルアクションシールドシステムPAT.」は、Kabutoが開発したシールド交換システムで、走行時のコンディションに合わせて、素早いシールド交換を可能にしたほか、メンテナンスも容易に行う事ができます。

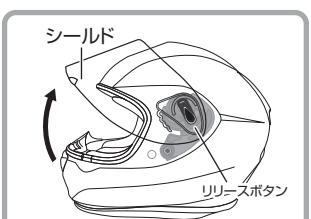
ーシールドの取り外しかたー

①シールドを（図1）のように一番上まで上げた状態にします。（止まる位置まで上げてください）

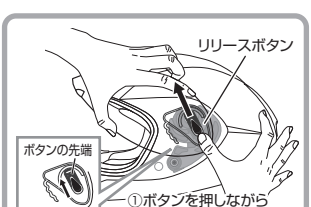
②（図2）のように、シールドにあるリリースボタンを押したまま、矢印方向へ引き抜くと、シールド片側が完全に取り外せます。

※リリースボタン先端の角度を目安に引き抜くと、スムーズに取り外せます。

③この作業をもう片側も行うと、シールドが完全に取り外せます。



※シールドが止まる一番上まで上げる
（図1）



（図2）

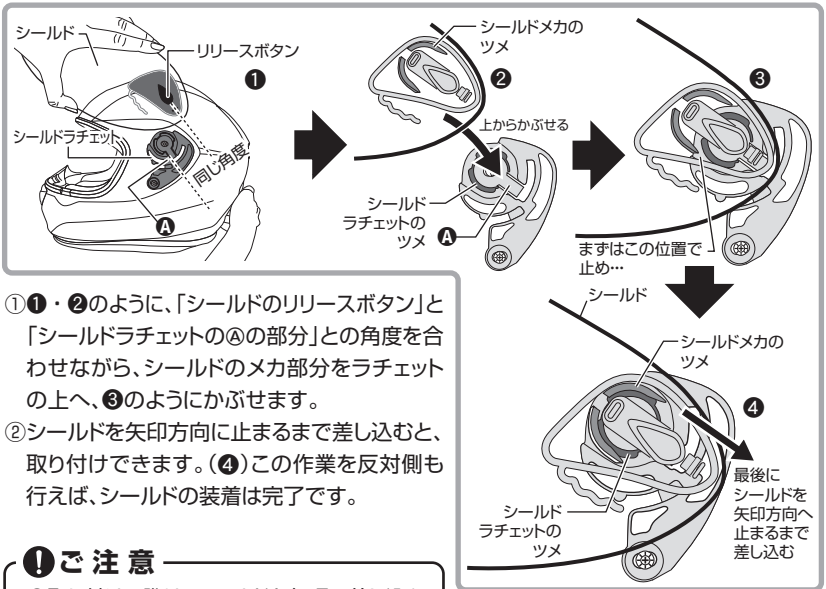
❗ご 注 意

●構造上、シールドを一番上まで上げないと、シールドを外せません。

●取り外す際は、シールドを無理に引き抜いたり、ねじったりしないでください。シールドやラチェット機構が破損するおそれがあります。

●取り外したシールドは、キズが付かないよう、お取り扱いには十分ご注意ください。

ーシールドの取り付けかたー



①❶・❷のように、「シールドのリリースボタン」と「シールドラチェットのⒶの部分」との角度を合わせながら、シールドのメカ部分をラチェットの上へ、❸のようにかぶせます。

②シールドを矢印方向に止まるまで差し込むと、取り付けできます。(❹)この作業を反対側も行えば、シールドの装着は完了です。

❗ご注意

- ●取り付ける際は、シールドを無理に差し込んだり、ねじったりしないでください。
  シールドやラチェット機構が破損するおそれがあります。
- ●取り付けたあと、必ず一度シールドを抜く方向に軽く引っ張り、抜けない事を確認してください。
- ●シールドの取り付けが完了したら、シールドを3〜4回開閉し、正確に開閉動作が出来るか確認を行ってください。その際に異音がしたり開閉動作がうまく出来ない場合は、当項目を再度よくご覧のうえ、最初から取り付け直してください。

⚠警告

- ●シールド取り付け後は、シールドが確実に取り付けられているか、また、開閉動作が正しく出来ているかの確認をしっかり行ってから走行してください。開閉動作が不完全な場合や、取り付けが不完全ですと、万一、走行中にシールドがうまく作動しなかったり、脱落する可能性があり、大変危険です。
  なお、開閉動作時に異音がしたり、開閉動作がうまく出来ない場合は、当項目を再度よくご覧になり、最初から取り付け直してください。
- ●シールドは消耗品です。虫や飛び石などでシールド表面がキズ付くと、視界を妨げる原因となり、大変危険です。キズや汚れが著しい場合は、そのまま使用を続けずに、早めに新しいシールドに交換してください。

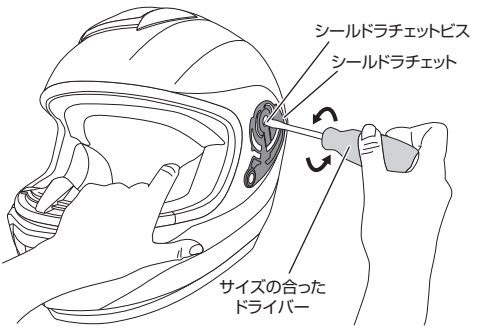
7 シールドラチェットの脱着方法

「シールドラチェット」とは、シールドの開閉や「**シングルアクションシールドシステムPAT.**」の機能をコントロールする部分です。

「**6シングルアクションシールドシステムPAT.の使用方法**」でシールドを完全に取り外すと、シールドラチェットが現れます。

ーシールドラチェットの取り外しかたー

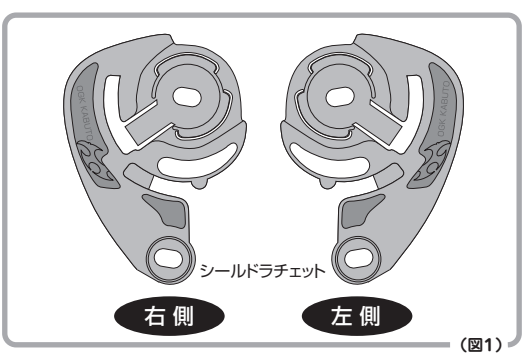
シールドラチェットを取り付けているシールドラチェットビスをサイズの適したドライバーで、左(反時計方向)に回すとビスが取り外せシールドラチェットも完全に取り外せます。
この作業を反対側も行います。



ご 注 意

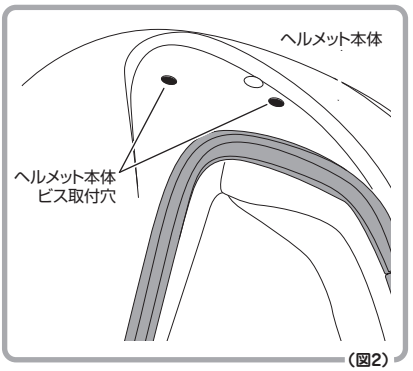
- シールドラチェットビスを取り外す際は、ビスに対して正しくサイズが合ったドライバーを選び、ビスに対して垂直になるように回してください。
  サイズが合っていなかったり斜めに回したりすると、ビスのネジ山が潰れてしまうおそれがあります。
- 取り外したビスは紛失しないようご注意ください。

ーシールドラチェットの取り付けかたー



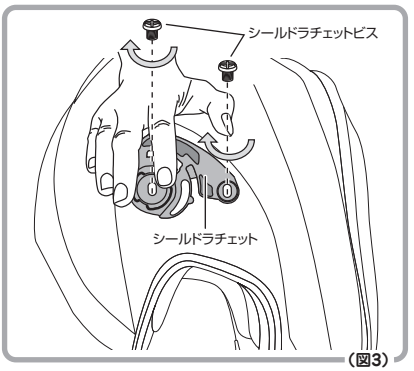
(図1)

①まずは、(図1)のように、シールドラチェットの方向を確認します。



(図2)

②ヘルメット本体･横のくぼみにシールドラチェットを乗せ、シールドラチェットの取付穴とヘルメット本体の取付穴を合わせます。(図2)



(図3)

③シールドラチェットビスを2箇所とも、右(時計回り)方向にしっかり締めます。この作業を両側とも行うと取り付け完了です。(図3)

ご注意

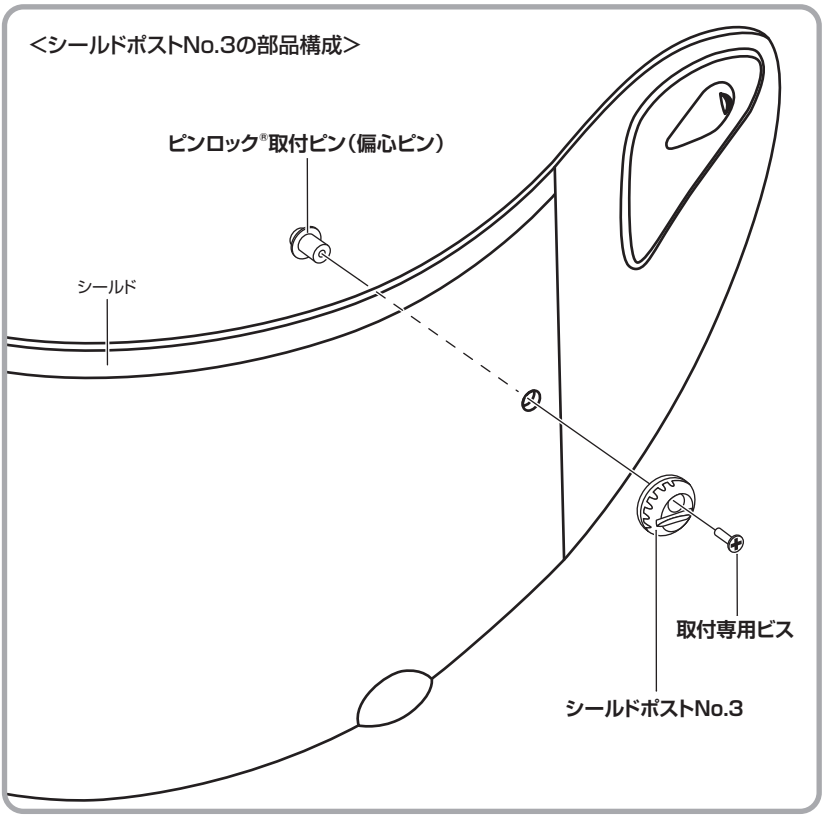
- シールドラチェットビスを締める際は、必要以上に締め付けないでください。ビスやその他部品が破損するおそれがあります。
- シールドラチェットビスを締める際は、ビスに対してドライバーを垂直にして回すようにしてください。ビスのネジ山が潰れてしまうおそれがあります。

警告

- シールドラチェットは、シールドの開閉動作に重要なパーツです。取り付けは確実に行い、取り付けが終わったら、シールドが正しく完全に下まで閉まるか、また開閉動作は正しく行えるかなどの確認を必ず行ってください。
- シールドラチェットビスは、定期的に緩みをチェックし、増し締めを行ってください。緩んだまま走行すると、走行中にシールドが脱落するおそれがあり、大変危険です。

8 シールドポストNo.3について

当製品は、シールドに「Pinlock®Original Insert Lens（内側）」と「リプレイスシールド3（外側）」を同時に装着できる「シールドポストNo.3」を採用しています。



■「Pinlock®Original Insert Lens」の取り付け方については、
「9 **Pinlock®Original Insert Lensの使用方法**」をご覧ください。

■「リプレイスシールド3」の取り付け方については、「10 **シールドポストの使用方法**」をご覧ください。

9 Pinlock®Original Insert Lensの使用方法

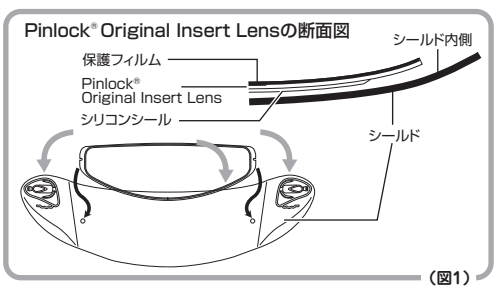
PINLOCK®
Original Insert Lens

Pinlock®Original Insert Lensは、
Pinlock® fog-free system社の登録商標です。

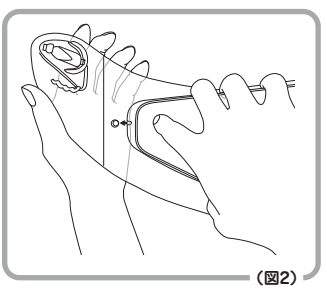
[Pinlock® Original Insert Lensについて]

Pinlock® Original Insert Lensは、冬期や雨天時などのヘルメット内部の温度変化によるシールドの曇りを抑える曇り止めシートです。
シールドとPinlock® Original Insert Lensの間に適度なすき間を設けることにより、外気温とヘルメット内部の温度差を平衡に保ち、曇りを抑えクリアな視界をキープします。

ーPinlock® Original Insert Lensの取り付けかたー

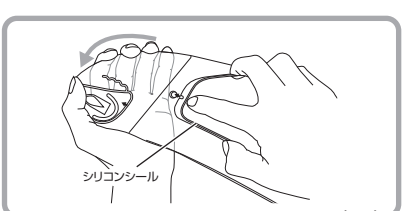


(図1)


(図2)

①Pinlock® Original Insert Lensの保護フィルムを剥がさずに、シリコンシールがある面をシールド内側に密着するように取り付けます。
このとき、Pinlock® Original Insert Lensの取り付け部を片側よりシールド内側にある偏心ピンへ差し込みます。(図1、図2)

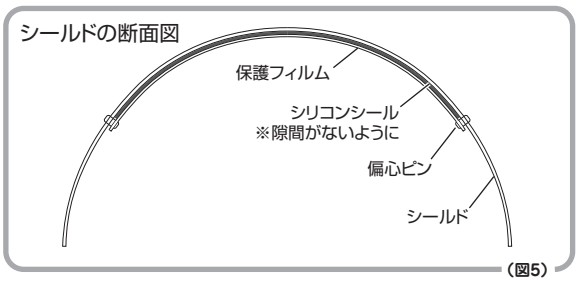
(図3)



(図4)

②片側の偏心ピンにPinlock® Original Insert Lensを差し込んだまま、シールドを平らになるくらいまで広げ、反対側の取り付け部も差し込み、シールドをゆっくり元に戻します。
(図3、図4)

(③につづく)



（図5）

③シールドをヘルメットに取り付けて、Pinlock® Original Insert Lensのシリコンシールが全てに渡ってシールドに密着しているかを確認します。このとき、隙間が見られる場合は、「Pinlock® Original Insert Lens･取り付け後の調整」を参照のうえ、調整してください。

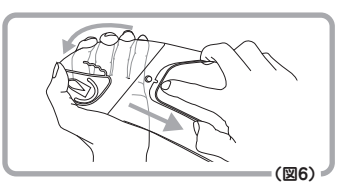
※ Pinlock® Original Insert Lensの密着度確認は、必ずヘルメットにシールドを装着した状態で行ってください。ヘルメットに装着していない状態では、Pinlock® Original Insert Lensの応力により、シールドが装着時よりも広がっている場合がありますので、ご注意ください。

④最後にPinlock® Original Insert Lensの保護フィルムを剥がして取り付けが完了です。

ーPinlock® Original Insert Lensの取り外しかたー

①シールドをヘルメットより取り外します。

②Pinlock® Original Insert Lensを取り付けたときの要領で、シールドを平らになるまで広げながら、偏心ピンからPinlock® Original Insert Lensを取り外します。（図6）


（図6）

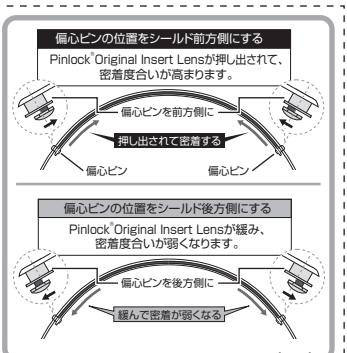
ー取り付け後の調整ー

Pinlock® Original Insert Lensとシールドに隙間が見られる場合は、調整を行ってください。

①ヘルメットからシールドを取り外し、Pinlock® Original Insert Lensを取り外します。

②偏心ピンを工具などを用いて（図7）のように、回して調整します。

③再度Pinlock® Original Insert Lensをシールドに取り付け、ヘルメットに取り付けてから密着度合いを再確認します。調整が必要な場合は、再度上記の作業を行います。



（図7）

※「Pinlock® Original Insert Lensを取り付ける」に関する次ページの、**「ご注意」**、**「Pinlock® Original Insert Lens･取り扱い上のご注意」**についても必ずよくお読みください。

ご注意

●Pinlock® Original Insert Lensを取り付ける際は、シールドを十分平らにしてから取り付けてください。平らにしないまま装着しようとすると、偏心ピンを破損することがあります。
●Pinlock® Original Insert Lensを取り付ける際は、シールド内側の汚れをきれいに取り除き、Pinlock® Original Insert Lensのシリコンシール側の曇り止め部分には手を触れないよう十分に注意しながら取り付けてください。
●お手入れの際は、ベンジン・シンナー・ガソリン・ガラスクリーナー、その他の溶剤は絶対に使用しないでください。Pinlock® Original Insert Lensの材質を侵すおそれがあります。
●乾燥の際、50℃以上になる場所や暖房機のそばなどに置いたり、ドライヤーや直火の使用などは絶対におやめください。熱によりPinlock® Original Insert Lensの材質を侵すおそれがあります。

Pinlock® Original Insert Lens・取り扱い上のご注意

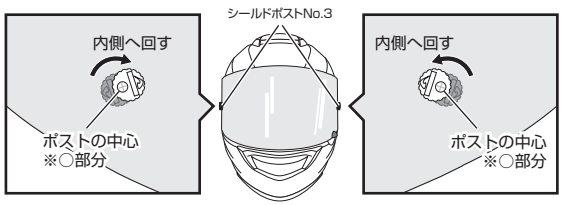
●Pinlock® Original Insert Lensは、Pinlock® Original Insert Lensに対応した専用シールドのみご使用になれますが、それ以外のシールドにはご使用いただけません。
●シールドとPinlock® Original Insert Lensの間が曇ったり、雨水が浸入する場合は、Pinlock® Original Insert Lensを取り外し、シールドとPinlock® Original Insert Lensの双方を十分に乾燥させてから、再度Pinlock® Original Insert Lensを取り付けてください。
●Pinlock® Original Insert Lensは、定期的に取り外してメンテナンスを行ってください。Pinlock® Original Insert Lensを長期間取り付けたままにすると、シリコンシールがシールドに固着する場合があります。
●Pinlock® Original Insert Lensをご使用になる場合は、必ず専用のシールド、ピンをご使用ください。また、それ以外のシールドを加工したり、純正部品以外のピンを取り付けたりしないでください。
●チンベンチレーションを閉じたままの状態や、ウィンドシャッターなどを使用すると、Pinlock® Original Insert Lensを使用しても曇る場合がありますので、十分にご注意ください。
●曇り止め効果が低下したり、Pinlock® Original Insert Lensに傷などが付いた場合は、そのまま使用せずに新しいPinlock® Original Insert Lensに交換してください
●ライディングポジションによりシリコンシールが視界に入る場合があります。

10 シールドポストNo.3の使用方法

当製品には、レースやツーリングなどにとても便利な使い捨てフィルム「**リプレイスシールド3**（別売）」が使用できる「シールドポストNo.3」を採用しています。リプレイスシールド3は、シールドポストNo.3の中心位置が中央ではなく、ややズレていること（偏心）により、シールドポストNo.3を回転させると、リプレイスシールド3が引っ張られて、シールドに密着する仕組みになっています。

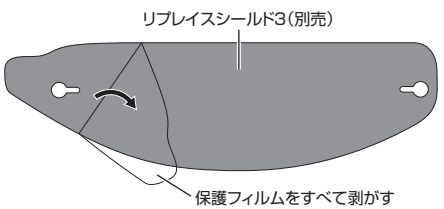
リプレイスシールド3を取り付ける前に、シールドポストNo.3の取付ビスを少し緩めてください。またリプレイスシールド3を取り付けた後は必ず取付ビスを適度※に締めてください。
※「適度」とは、指では回らずコインでは回る程度が理想的な締めつけ固さです。

ーリプレイスシールド3の取り付けかたー



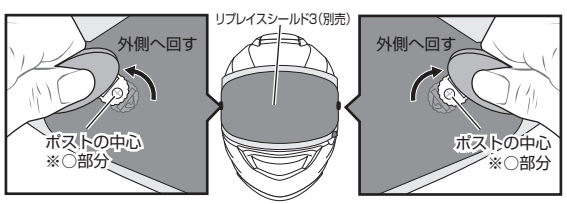
①シールドの左右にあるシールドポストをそれぞれ内側へ回し、ポスト同士の距離を縮めます。（図1）

（図1）



②リプレイスシールド3の片側に付いている、薄い保護フィルムを全て剥がします。（図2）

（図2）



③リプレイスシールド3を（図3）のように取り付け、ポストの両側をコインでそれぞれ少しずつ外側へ回すと、リプレイスシールド3が左右に引っぱられて、シールド表面に密着します。左右同時に指で回してみて、シールドポストが回らない程度に引っ張ると、取り付け完了です。

（図3）

※次ページの「**ご注意**」・「**警 告**」についても必ずよくお読みください。

ご注意

リプレイスシールド3のカラーにより、密着させるとリプレイスシールド3表面に干渉色が見える場合があります。目に合わない場合は、カラーを変えるか、リプレイスシールド3のご使用を中止してください。

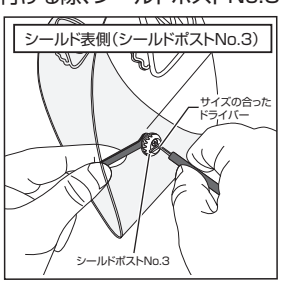
警告

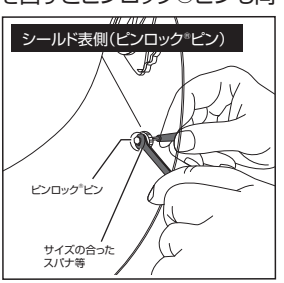
- リプレイスシールド3をご使用の際は、必ずリプレイスシールド3の保護フィルムを剥がしてください。保護フィルムを剥がさずに使用すると、視界が悪くなり大変危険です。
- リプレイスシールド3を取り付ける際は必ず、シールドポストNo.3が指で回らない程度回し、リプレイスシールド3をシールド表面に密着させてください。密着しないまま使用すると、走行時の風圧によりリプレイスシールド3が動き、シールド表面にキズがつくおそれがあり、視界不良の原因となる場合があります。
- 雨天時は、リプレイスシールド3を使用しないでください。リプレイスシールド3とシールドの間に水滴が浸入して視界を妨げ、大変危険です。
- 虫の死骸や、砂、ゴミ等が付着したら、そのまま使用を続けずに、新しいリプレイスシールド3に交換してください。

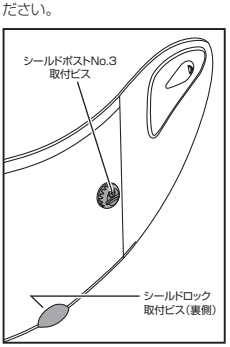
重要 シールドポストNo.3を回すとピンロック®ピンも同時に回ってしまう場合

リプレイスシールド3を取り付ける際、シールドポストNo.3 を回すとピンロック®ピンも同時に回ってしまう場合があります。その場合は5mmの工具（スパナ等）でピンロック®ピンが回らないよう押さえながら取付ビスを**適度**※に締めてください。

※リプレイスシールド3の張り具合については「**10 シールドポストNo.3の使用方法**」をご参照のうえ、調整してください。







取付ビスは定期的な点検・メンテナンスを必ず行いましょう。

シールドポストNo.3やシールドロックの取付ビスは、走行中の振動などで徐々に緩む場合があり、そのまま使用を続けると「リプレイスシールド3」や「シールドポストNo.3」そのものが飛散するおそれがあります。それぞれの取付ビスが緩まないよう、定期的に点検、増締めを行ってください。

ご注意

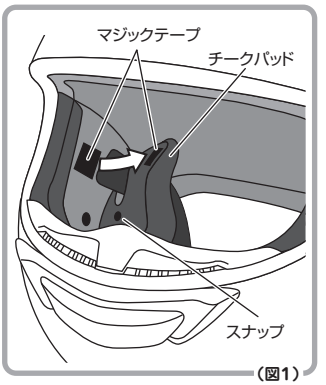
ビスを締める際は、無理な力で締め付けないでください。部品やシールドが破損する原因となります。

11 チークパッド（ほほ）の脱着方法

ーチークパッドの取り外しかたー

チークパッドをしっかりと持ち、マジックテープとスナップよりチークパッドを取り外して抜き取れば取り外せます。（図1）

この作業を左右両方とも行います。



（図1）

ご注意

チークパッドを取り外す際は、マジックテープおよびスナップが付いている根元から外すようにしてください。無理に引っ張ったりすると、チークパッドが破損するおそれがあります。

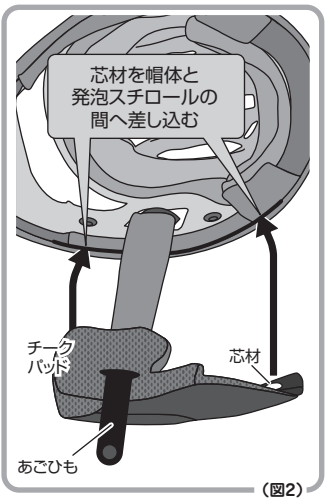
ーチークパッドの取り付けかたー（図2）

①チークパッドの方向を確認します。

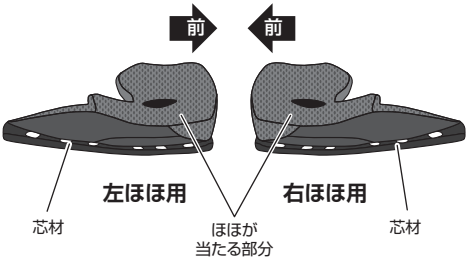
②チークパッドの芯材を帽体と発泡スチロールのすき間へ差し込み、あごひもを図のように通して取り付けます。

③最後にチークパッド裏側のマジックテープとスナップ2箇所を帽体側へしっかり押さえて止めれば完了です。

この作業をもう反対側も行うと、チークパッドの装着は完了です。



（図2）

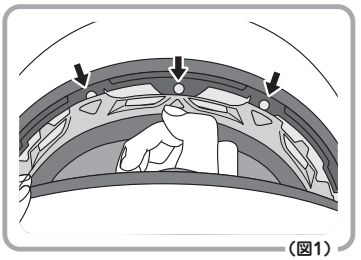


ご注意

チークパッドが完全に取り付けられていることを確認してから走行してください。また正しく取り付けていなかったり、取り付けずに走行するのは、危険ですのでおやめください。

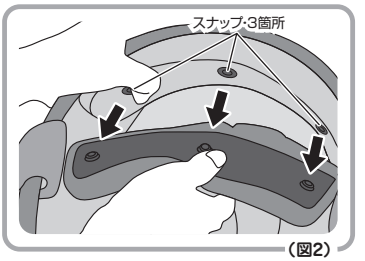
12 インナーパッドの脱着方法

ーインナーパッドの取り外しかたー



（図1）

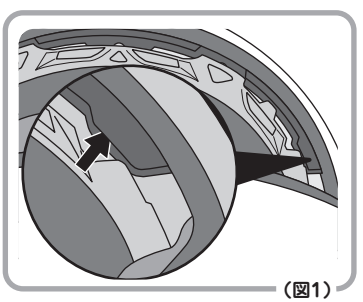
①額付近のスナップを下方向に引っ張って外します。



（図2）

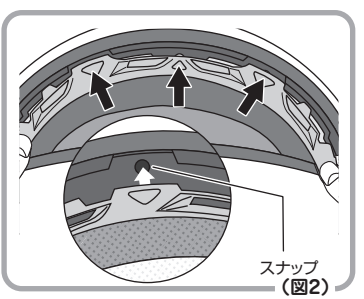
②次に後頭部にある、3箇所のスナップを外せば、インナーパッドを全て取り外せます。

ーインナーパッドの取り付けかたー



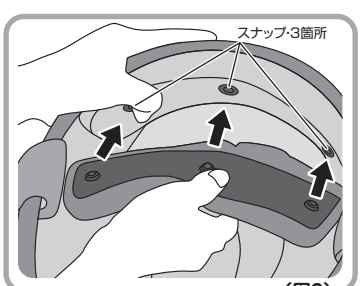
（図1）

①こめかみ部分の芯材をはじめに差し込みます。



（図2）

②本体にある、3箇所のスナップをそれぞれ押し込みます。



（図3）

③最後に後頭部にある、3箇所のスナップをそれぞれ取り付けて完了です。

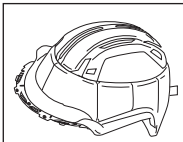
ご注意

- インナーパッドを取り外す際、スナップは強引に引っ張らず、ゆっくり引き抜いてください。パッドの生地やその他部品が傷むおそれがあります。
- インナーパッドが確実に取り付けられていないと、走行中にヘルメットがずれる可能性があり、大変危険です。ジョイントおよびスナップは確実に取り付けてください。

参考 インナーパッド、チークパッド、あごひもカバーの互換性について

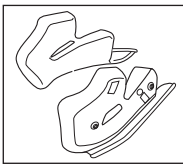
RT-33シリーズの内装は以下の区分で互換性があり、チークパッドだけを小さめにする、などといった、細やかなサイズ調整が可能です。

■RT-33シリーズ インナーパッド: 各 **¥3,800**(+消費税)



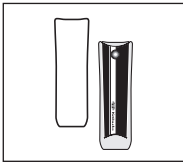
帽体サイズ	パッドサイズ(厚み)	互換性	パッケージ内容
M帽体	XS (19mm) S (15mm) M (9mm)	**XS, S, M**の3サイズ内で互換性があります。	インナーパッド×1個入
L帽体	L (12mm) XL (9mm)	**L, XL**の2サイズ内で互換性があります。	インナーパッド×1個入

■RT-33シリーズ チークパッド: 各 **¥3,200**(+消費税)



帽体サイズ	パッドサイズ(厚み)	互換性	パッケージ内容
M帽体	XS (33mm) S (29mm) M (24mm)	全サイズで互換性があります。	チークパッド(左右)×1個入
L帽体	L (26mm) XL (20mm)		

■RT-33シリーズ あごひもカバー: **¥1,000**(+消費税)



互換性	パッケージ内容
全サイズ共通 全サイズで 互換性があります。	あごひもカバー(左右) ×1個入

※掲載されている価格は、2014年5月時点の価格です。

※掲載されている価格は、すべて「税抜き価格」となっています。

※最新情報は、弊社ホームページをご確認ください。

重要 内装パッド(インナー・チーク・あごひもカバー)の洗濯についてのご注意

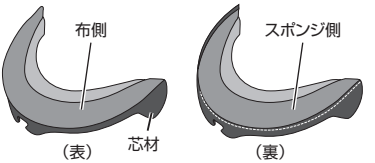
- ●当製品の内装パッドは、取り外したあとに洗えます。洗う際は一般に市販されている家庭用洗濯洗剤を使用し、手洗いもしくは洗濯機(必ず洗濯ネットに入れる事)で、洗ってください。
- ●洗濯時は、市販の洗濯用洗剤を水もしくはぬるま湯でご使用いただき、熱湯や化学洗剤、有機溶剤などでのクリーニングは、品質の低下や傷みの原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- ●市販の洗濯用洗剤でも、種類によっては多少の色落ちが発生する可能性がありますので、洗濯の際はなるべく個別に分けて洗ってください。
- ●50℃以上となる、乾燥機能付き・ランドリーなどでの洗濯は、パッドの品質低下や傷みの原因となりますので、それらの機器の使用をさけてください。
- ●洗濯後はしっかり水気をきり、なるべく直射日光の当たらない場所で陰干しを行い、十分乾燥したことを確認してからヘルメット本体へ装着してください。
- ●内装パッドは消耗品です。通常の使用でも使用頻度によっては、生地の傷みやインナーフォームの劣化が進みますので、適時交換をお薦めします。

13 ウィンドシャッターNo.2の脱着方法

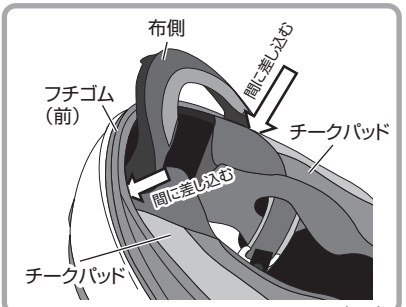
この製品には、標準付属品として「ウィンドシャッターNo.2」が同梱されています。
このパーツは、走行中に発生する、あご付近からの風の巻き込みを軽減するもので、季節や用途に応じてお好みで脱着できます。

ーウィンドシャッターNo.2の取り付けかたー

①まず（図1）をご覧のうえ、「表」と「裏」をお間違えないよう、ご確認ください。



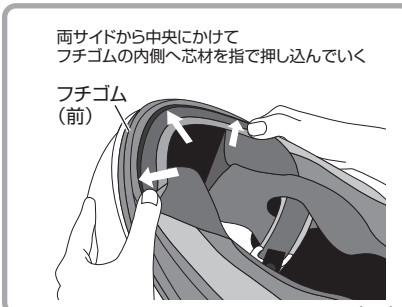
（図1）



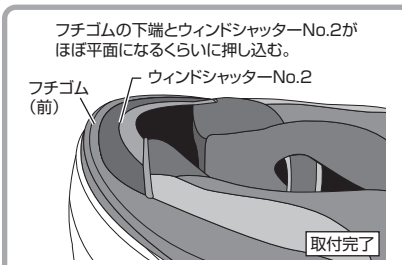
（図2）

②次に（図2）のように、ヘルメットを裏返し、ヘルメットの前方（あご部分）へウィンドシャッターNo.2を取り付けます。このとき、ウィンドシャッターの両側の芯材をチークパッドの前付近とフチゴムの間に差し込みます。

③次に（図3）のように、両サイドから中央にかけ、均一にウィンドシャッターNo.2の芯材をフチゴムの内側へ押し込んでいきます。



（図3）



（図4）

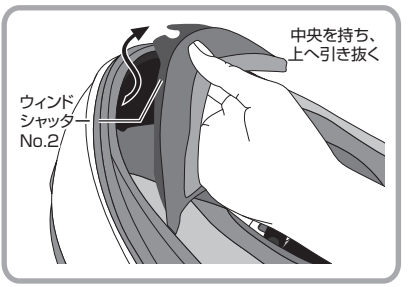
④フチゴムの下端とウィンドシャッターNo.2の表面がほぼ平面になるよう、セットすれば取り付け完了です。（図4）

ご注意

- 取り付けは確実に行ってください。
  取り付けが不完全ですと、走行中に脱落するおそれがあります。
- 取り付ける際、接着剤などは使用せず、必ず上記の方法でのみ取り付けを行ってください。
  接着剤などの成分により、ヘルメットの材質が侵されるおそれがあります。

ーウィンドシャッターNo.2の取り外しかたー
ウィンドシャッターNo.2の中央付近をしっかり持ち、上へ引っ張ると、取り外せます。

ご注意
ウィンドシャッターNo.2を取り外す際は、強く引っぱらず、慎重に取り外してください。生地や部品が破損することがあります。



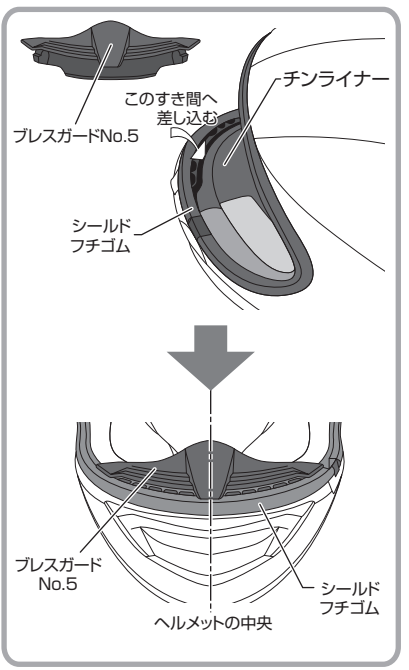
14 ブレスガードNo.5の脱着方法

ブレスガードNo.5は用途に応じてお好みで脱着できます。

ーブレスガードNo.5の取り外しかたー
ブレスガードNo.5をしっかりつかみ、引き抜くと取り外せます。

ーブレスガードの取り付けかたー
図のように、ヘルメット中央とブレスガードNo.5の中央を合わせて、シールドフチゴムとチンライナーのすき間に押し込めば、取り付け完了です。

ご注意
取り付ける際、接着剤などは使用せず、必ず上記の方法での取り付けのみ行ってください。接着剤などの成分により、ヘルメットの材質が侵されるおそれがあります。



COOLMAX®

当製品は、内装生地に汗を素早く蒸散し、
いつもサラッと快適な「クールマックス®」を使用しています。

－ 汗を素早く蒸散し、いつもサラッと快適 －

●体から発汗すると、「クールマックス®」は水分を外へ排出し、空気が外部から入り込んで、冷却・乾燥させる効果があり、体表温度を下げ、優れた水分調整機能を発揮します。

●「クールマックス®」は自然な風合いを持ち、ソフトで軽量、通気性にも優れています。

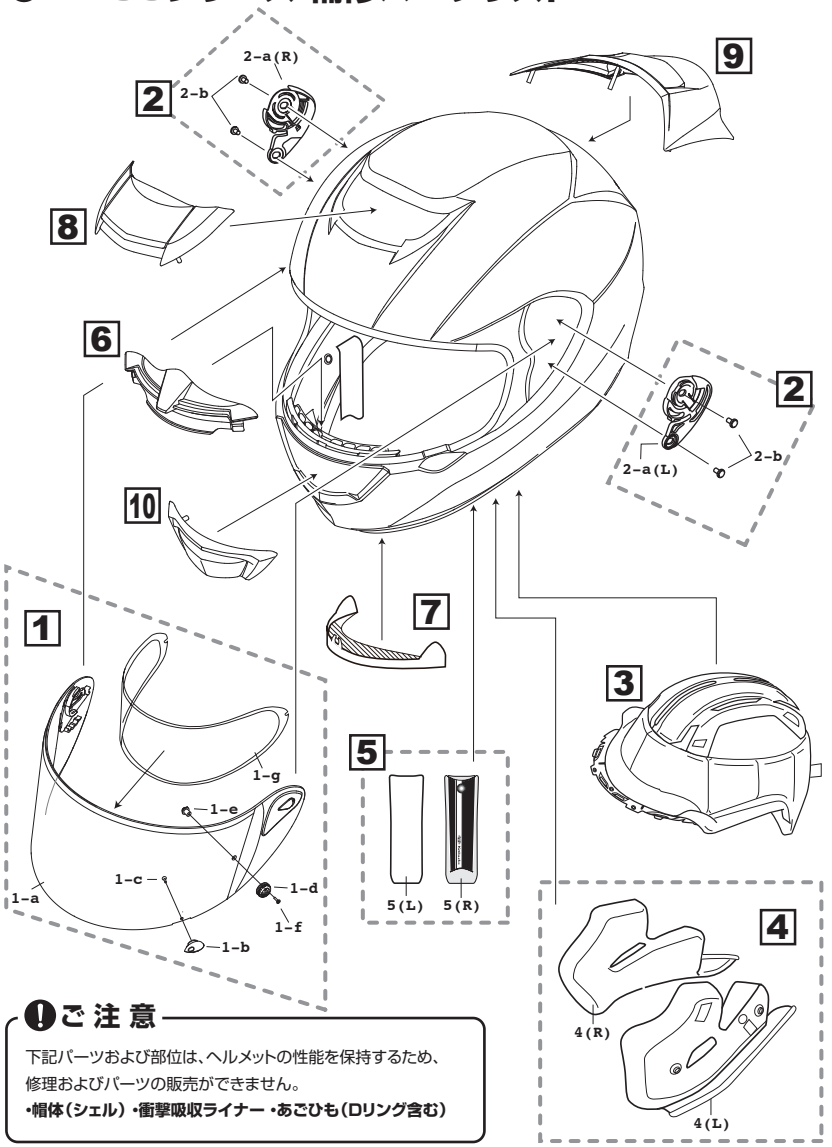
※「COOLMAX®」および「クールマックス®」はインビスタ社の登録商標です。

商品に関するお問い合わせ:

株式会社 オージーケーカブト **TEL: 06-6747-8031**

〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3-4

●RT-33シリーズ 補修パーツリスト



ご注意

下記パーツおよび部位は、ヘルメットの性能を保持するため、
修理およびパーツの販売ができません。

・帽体（シェル）・衝撃吸収ライナー・あごひも（Dリング含む）

RT-33シリーズ・補修パーツ／価格表

No.	パーツ名称	パッケージ内容	価格（+消費税）
1	SAF-Wシールド	1-a: SAF-Wシールド（標準：クリア）×1枚	¥4,500
		1-b: シールドレバー本体×1個	
		1-c: 2.3×6 B-0 取付ビス×1個	
		1-d: シールドポストNo.3×2個	
		1-e: ピンロックピンNo.2×2個	
		1-f: 取付専用ビス×2本	
	シールドポストNo.3セット	1-d: シールドポストNo.3×2個	¥400
		1-e: ピンロックピンNo.2×2個	
		1-f: 取付専用ビス×2本	
	SAF-W Pinlock® Original Insert Lens	1-g: SAF-W Pinlock® Original Insert Lens（1枚）	¥3,000
2	SAFシールドラチェットセット	2-a: SAFラチェット（左右）×1セット	¥1,200
		2-b: 7L-Bビス×4個	
	シールドラチェットビスセット	2-b: 7L-Bビス×4個	¥200
3	RT-33 インナーパッド	3: ※P-21参照（XS・S・M・L・XL）インナーパッド×1個	¥3,800
4	RT-33 チークパッドセット	4: ※P-21参照（XS・S・M・L・XL）左右×1セット	¥3,200
5	Aeroblade-IIIあごひもカバーセット	5: あごひもカバー（左右）×1セット	¥1,000
6	プレスガードNo.5	6: プレスガードNo.5×1個	¥1,200
7	ウィンドシャッターNo.2	7: ウィンドシャッターNo.2×1個	¥1,000
8	RT-33 ヘッドベンチレーション	8: ヘッドベンチレーション×1セット	¥1,500（¥2,000）
9	RT-33 リアベンチレーションフィン	9: リアベンチレーションフィン×1セット	¥3,000（¥3,500）
10	RT-33 チンベンチレーション	10: チンベンチレーション×1セット	¥1,500
別売専用	リプレイスシールド3 ※SAF-Wシールドには必ず「リプレイスシールド3」をご使用ください。（なおSAFシールドにはご使用いただけませんのでご注意ください）	クリア（3枚入）	¥800
		スモーク（2枚入）	¥800
		シルバーミラー（1枚入）	¥800
		ブルーミラー（1枚入）	¥800

●（ ）の付いている価格は「グラフィックモデル」の価格です。
●上記パーツは、Kabutoヘルメット取扱店にてお買い求めください。
●パーツにカラーが設定されているものについては、ご注文の際にカラーをお伝えください。
●製品の性能をさらに向上させるために、材質や仕様、価格等を予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
●パーツの詳細、最新情報は、Kabutoホームページでもご覧いただけます。

http://www.ogkkabuto.co.jp Kabuto 検 索

※掲載されている価格は、2014年5月時点の価格です。
※掲載されている価格は、すべて「税抜き価格」となっています。

株式会社 オージーケーカブト
〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3-4　TEL:06-6747-8031
WEB: www.ogkkabuto.co.jp Kabuto 検索

2014-AP-RT33-QDK